

平成31年4月19日(金)はつらつクラブ 石川山公民館 10:00~11:30(参加者22名)

## I. 講話 「 知って安心 訪問看護サービス 」

訪問看護ステーションさくら

所長 畑中 勇二



どんな状態の人でも自宅で暮らしたいと思えば家で過ごせる手段があります。国も、医療費や介護費の出費を抑える為に在宅医療の体制づくりをすすめています。訪問看護は、医療や介護が必要になっても自宅で過ごしたい人の希望に沿って24時間365日必要に応じて駆けつけます。自宅に訪問して健康状態のチェックやリハビリや入浴の介護、認知症の方の精神的な援助、お薬が管理できない人の援助を行っています。最近では自宅で家族が看取るケースも月に2~3名程あります。ご家族で看取るためのサポートをして、ご家族だけで見守りながら亡くなられるケースもあります。癌の患者さんは最後まで痛みを訴えるイメージがありますが、薬も開発されて痛みをかなり緩和して自宅で過ごすことが楽になっています。痛みのコントロールや病状などをかかりつけの先生と連携を取りながらサポートしていきます。

訪問看護は、~安心、お守り、訪問看護~と覚えてください。自宅という特別個室にいて必要な時に看護師さんが駆けつけるというイメージで訪問看護を知っていただきたいと思います。

### 【参加者の声】

- 一人暮らしの人でも訪問看護を使って生活して行けるんですか…？
- 認知症があったら、とても一人暮らしは無理ですよ…
- 24時間いつでもって云うけど、もし夜中に具合が悪くなって連絡したら、先生が来てくれるんですか…？(必要に応じて、看護師が駆けつけます。の返答をした)
- 酸素とかいろいろな機会を付けている人とかは、家で看ることが出来るんですか…？
- 保険は医療保険と介護保険と、どちらを使えるんですか。
- 最期まで家で暮らして行きたいと思っても、認知がでたり介護が必要のなったら、一人暮らしの人はやっぱり出来ないと思います。
- 病気になったらやっぱり病院が安心な気がしますもんね…。

まだまだ元気だから、実感がわかない気がします。とのご意見もありましたが、非常に興味深く聴いて頂き、質問など活発に出して頂きました。

まだ介護保険など無い頃に家族を自宅で看取られたとのお話も聞かせて頂きました。「その頃に訪問看護があれば、よかったのにね」と今は色んなサービスもあって介護する人も大分助かっていると思います。とご意見も聞かせて頂きました。